

# 東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10  
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

## 新生存権裁判



### 第3回口頭弁論も地裁大法廷を埋める

5月15日東京地方裁判所において、生活保護切り下げは生存権を侵害するとして、56人の生活保護利用者が引き下げ取り消しと、慰謝料を求める訴訟の「新生存権裁判東京」第3回口頭弁論がありました。この裁判には102人の支援者が集まり、地裁103号大法廷は満席となりました。

この裁判の主な争点はデフレ調整です。毎年、物価を考慮して生活保護基準を変えているにもかかわらず、国はデフレを理由に引き下げを強行。被告の国は、引き下げの根拠を回答できず、裁判長からも追及されています。

口頭弁論での原告陳述では、バセドー病で働けなくなり生活保護利用となった経緯と、基準引き下げで食事が見切り品のキャベツだけのときもあり、風呂は週2回、服は繕って着続け、何かを楽しむための金銭は絶食しないと捻出できないという内容に、傍聴席からは思わずため息がもれてしまう切実な現状を訴えました。

原告側弁護士は、安倍政権発足後に自民党の世耕弘成官房副長官（当時）が厚労省幹部と面談し、基準部会にかけることなく引き下げを決めたことを開示請求で明らかにしました。

被告の国は、引き伸ばし戦術を試みているのか、法廷では反論せず書面で対応すると繰り返し、裁判長からも「この場で説明しにくいということですか。次回はきっちりまとまった答弁書を準備して下さい」と追及される有様でした。

みなさんのたたかいに連帯の意思を示したい



参議院会館内で開かれて報告集会では、山添拓参議院議員が駆け付け、「今日も法廷では被告の国はしどろもどろだったようです。本裁判と同様に、現政権は結論ありきのでっち上げが得意技。情勢としては内閣府の景気判断が後退となり、このまま本当に消費税を10%にするのかが問われる事態となっています。消費税増税は、リーマンショック級の打撃を日本経済に与えかねません。国がついているウソをみなさんのたたかいが化けの皮をはがしています。裁判も運動も、力をあわせ、頑張っていきましょう。」と、情勢報告とともに連帯を表明しました。

< 今後の予定 >

第4回口頭弁論

9月4日(水) 14:30~

第5回口頭弁論

11月6日(水) 11:30~



# 各地域・団体の取り組み

## 西多摩社保協



西多摩社保協は6月30日、第19回総会を東京土建西多摩支部会館において開催し35人が参加しました。

来賓のあいさつに立った東京社保協相川事務局次長からは情勢報告を兼ねて、参議院選挙の争点となっている消費税10%への引き上げや、年金問題などについて報告し「必要な医療や介護が受けられない実態」や「格差と貧困が続いている実態」を、国の責任で改善させていく運動が大切なことを強調しました。また、西多摩労組連の浜島男さんからは、働き方改革の問題点をついたあいさつがされました。

2018年度の活動報告と2019年度方針、決算報告と新年度予算案の報告を受け、討論では9人が発言し、「教員のブラックな働き方」「新婦人各班での学習会の取り組み」「日の出の福祉施策への団体視察」「あずみの里裁判問題の訴え」「生活保護利用者への熱中症対策支援」「ひとり親家庭への瑞穂町の支援事業」「難聴者への補聴器の金銭補助」など、活発な発言がありました。

活動報告・活動方針、決算・予算を全会一致で承認し、新役員を選出し、特別決議を全体で確認し総会を終了しました。

(西多摩社保協ニュースより)

## 渋谷社保協



渋谷社保協は7月2日、「渋谷なんでも相談会」を渋谷駅モヤイ像前で開催し、7団体13人が参加し、3件の相談が寄せられました。

相談内容は、「会社に労災の休業補償や見舞金を請求したい。」という相談や、中国から留学した大学院2年生の女性は「30～40社に応募したが書類選考は通過しても面接で落とされる」と就活の実情を話しアドバイスを受けました。70代の女性は、「受けてもいないのに介護保険料ばかり取られて」と不満をぶちまけ、介護支援相談員と一緒に制度の仕組みや問題点と課題などの説明を受けていました。

## 恵比寿駅前署名宣伝行動

6月20日、恵比寿駅西口で渋谷アクション・東京土建渋谷支部と合同で、STOP消費税増税と9条改悪NOをアピールする署名・宣伝行動に、各団体がリレーでスピーチをしながら取り組みました。



(渋谷社保協ニュースより)



# 墨田社保協



6月27日、曳舟文化センターに於いて墨田社保協2019年度総会を開催し36人が参加しました。

三上事務局次長が開会あいさつ、続いて中村共同代表が、この間対区要望として提出してきた肺がん検診の実施場所の拡大や、胃の内視鏡健診開始など、交渉が成果を上げている。要求をさらに強めていくことが重要と指摘しながらあいさつを行いました。

来賓として、東京社保協窪田事務局次長より、先の一斉地方選挙で民医連が国保問題などで候補者アンケートを実施した内容の報告がされました。

続いて日本共産党墨田区議団高橋団長より、国保料値上げの一斉通知がされ、抗議の問合せが多数寄せられている報告がありました。

活動報告・方針案、会計報告・監査報告、予算案、役員体制の提案が行われ、討論に移りました。

討論では、参加各団体からこの間の取り組みなどの報告がされ、方針では対区予算要望を来年度に反映させるために、何とか8月中に区へ要望書提出を目指すこと、秋に学習会を開催することを全体で確認し、藤川共同代表が閉会あいさつを行いました。

(事務局長 鈴木太一)

# 中野社保協

6月27日、通算101回目の「なんでも相談会」を中野駅北口広場で開催し、19人が参加しました。

相談では、路上生活者の医療相談などが8件、東日本大震災前に福島に帰る予定で荷物を送り、原発事故で帰れなくなったという相談など4件の法律相談がありました。

(なんでも相談会実行委員会ニュースより)



## 「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や  
社会保障制度がよくわかる！役に立つ！  
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）  
3000円（送料別）  
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ  
TEL03-5395-3165  
FAX03-3946-6823
- \*ホームページからも注文できます





# 無料 国保・医療なんでも電話相談会

～ 滞納・差押え110番 ～

国保料や窓口負担の免除、減額など負担軽減ができる場合があります。まず、無料相談にお電話ください。

2019年8月25日(日)午前10時～午後5時



## 0120-110-458

医師、看護師、弁護士、ケースワーカーなど  
 専門家が相談にお答えします

介護利用料高くて  
 テイサービス減らした

年金が差押えされた  
 どうしたらいい?

正規社員になれない!  
 国保料高くて払えない

具合悪いけど  
 病院に行けない

国保料(税)が高くて困っている、  
 差押えをされそうだ、など相談はお気軽に



主催:「国保・医療なんでも相談会～滞納・差押え110番」実行委員会  
 東京保険医協会、東京民医連、東京地評、東京医労連、東京土建  
 東商連、都生連、東京自治労連、東京社保協、中央社保協

連絡先 東京社保協 TEL03(5395)3165 fax03(3946)6823 東京社保協検索

## 第33回日本高齢者大会

**日時** 9月25日(水)13時半～  
 9月26日(木)12時まで  
 磐梯熱海温泉(福島)

**主催:高齢者大会実行委員会**

## 「4の日」定例宣伝行動

- ・8月14日(水)11時～12時  
 巢鴨駅
- ・9月14日(土)11時～13時  
 巢鴨地藏通り商店街入口

**主催:東京社保協・中央社保協**

## 第47回中央社保学校

8月29日(木)13時半～31日(土)12時まで  
 会場:石川県教育会館3階ホール他  
 29日:学習講演、講師:小森陽一氏他  
 30日:テーマ別分科会、貧困問題シンポジウム  
 31日:市民公開講座、斉藤貴男氏

**主催:中央社保協**

## 東京社保学校

11月10日(日)10時～  
 けんせつプラザ東京

**主催:東京社保協**